

議員（天野 里美）

3番 天野 里美です。

次の2点についてご質問いたします。1点目、公共施設の安全管理及び防犯管理について、2点目が子育て支援に向けた取り組み等についてご質問いたします。

まず、1点目です。公共施設の安全管理についてご質問いたします。

去る4月20日、多度津町民体育館のトイレの壁が倒壊し、女性が下敷きになり、腰の骨が折れる等、重傷を負いました。町はこのような事故が二度とあってはならないと学校や公民館など町管理の公共施設の緊急点検を行ったとのことでした。

お尋ねいたします。

点検は、いつ、誰が、どのようにして点検を行いましたか。また、その結果はどうだったのか教えて下さい。

併せて、幼稚園、小学校、公園、小規模公園も含む遊具の点検を行ったのでしょうか。地域密着型の小規模公園やスポーツ施設の有する公園も子供たちから高齢者まで多くの方が遊び場や憩いの場として、安心・安全に利用できる場所でなければなりません。一方で、遊具等の老朽化による事故が発生したというニュースもあります。

そこで、お尋ねいたします。

本町における公共施設、小規模公園を含めて安全管理がどのように行われ、点検、修繕計画はどのようになっているかお答え下さい。

町長（丸尾 幸雄）

天野議員の公共施設の安全管理についてのご質問に答弁をさせていただきます。

平成31年4月20日に町民体育館で発生した壁の倒壊事故を受け、4月22日に臨時の課長会を招集し、所管課にて公共施設の緊急点検を実施するよう指示をいたしました。4月22日から4月24日までの3日間で固定資産台帳に登録されている全ての公共施設93カ所について、町職員や指定管理者等の施設管理者による目視等の点検を行いました。結果、修繕に急を要すると思われる施設は15カ所あり、たちまちの修繕が困難なものにつきましては付近を立入禁止にするなどの対応といたしました。今後、目途が立ち次第、随時修繕してまいります。

次に、幼稚園や小学校の遊具につきましては、従前より園長や教頭による月1回、または2回の定期点検を実施し、年1回、専門家による点検を実施しております。その結果により、遊具の劣化具合の評価をもとに優先順位をつけ随時修繕または更新をしております。

また、町が所有する公園の遊具についてでございますが、こちらも従前より職員による月1回の目視点検や、年1回、専門家による点検を実施し、随時修繕または更新をしております。

今回の事故を受け、今後の方針といたしましては、建設課にて公共施設の公共建築物維持管理点検マニュアルを作成し、それに基づき各施設の所管課が定期点検を実施するとともに、必要に応じて随時修繕を行っていくこととしております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（天野 里美）

ご答弁有難うございました。

公共施設は誰もが安心して利用できる場所でなければなりません。公共施設の点検は定期的に点検しているから大丈夫ということではなく、そこに従事している職員の施設の安全に対する意識の向上の取り組みや、施設を利用している方の情報を得ることも重要だと思います。

施設の老朽化はつきものです。不具合が見つければ直ちに安全確保した上で修繕を行い、そして重要なことは公共施設の修繕計画を策定していないのであれば策定するべきです。修繕計画を策定しているのであれば、もう一度施設の漏れがないかなど確認するべきだと思います。

また、深くお尋ねしたいことがございますが、委員会等にてお尋ねしたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

次に、幼稚園、小学校、中学校の周辺及び敷地内の防犯管理についてご質問いたします。

去る5月28日、スクールバスを待つ子供たちが襲われ死亡するという痛ましい事件がありました。母親として動揺し言葉を失くしたのを覚えています。幼稚園、小・中、高と子供たちがそれぞれに夢を持ち、安全で楽しく過ごして欲しいと親の願いでもあります。

現在、新聞、テレビ等で頻繁に不審者の情報が報道されており、不安に思う保護者の方々も多くおられます。朝の登校時は先生方をはじめ、交通指導員、各地域の連携により安全確保ができています。

一方、敷地内の防犯管理について、防犯設備の設置等ハード面だけでは十分でなく、防犯に対する意識向上や防犯管理の対応については学校、保護者、地域住民の協力体制の確立、強化等、ソフト面での取り組みが必要不可欠です。

そこで、お尋ねいたします。

ソフトでの防犯対策として現状と課題、そして新たな策があればお答え下さい。

教育長（田尾 勝）

天野議員の幼稚園、小学校、中学校の周辺及び敷地内の防犯管理についてのご質問に答弁させていただきます。

不審者の侵入に対する対応については、幼、小・中学校では子供の登下校等以外は正門等は閉めている状態です。玄関を入ると、来校者は受付を通りチェックを受けて入室する仕組みになっております。

防犯カメラは多度津中学校、多度津小学校及び白方小学校に玄関などを中心に設置されており、監視システムが作動しております。

また、教職員が来校された方に対して声をかけるようにもしています。刺股の設置や教職員が危機管理意識を持つよう、マニュアルの確認などを行う研修も行ったりしております。

こうしたことは保護者や地域の人々が学校に来にくくなり、開かれた学校づくりと少し矛盾する点もあることは否めませんので、保護者や地域の方々には学校の取り組みやシステムの理解を十分に求めておく必要があります。

こうした取り組みが若干徹底していない点もありますので、再度各校の防犯システムの状況について確認し、防犯体制の強化を図ろうと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（天野 里美）

ご答弁有難うございました。

これは一つの例ですが、先日私は福祉センターで行われました介護予防サポーター養成講座に参加してまいりました。私を含む10の方が受講され、介護予防に対する知識を深め学んでおられました。

その中のお一人ですが、障害児の支援を行う生活支援相談員を長年にわたりされていましたが、退職後、地域のために仕事がしたいと講座に来られ学習されておりました。このような経験を持たれた方は地域の力として子供たちを守る大きな役割を果たすと考えます。

5月に行われました新人議員の研修会において、九州にある福津市、原崎市長の講義の中に、市民の力を発揮する、市民の力を引き出すのが行政の役割であるとのお話をお聞きしてきました。

地域の人たちの力を借り、コミュニティーの形成をすることは、町の安全で、安心で、快適に過ごせることができる基本の政策です。町が掲げている様々な施策の実現に向けて、町としてどのように地域の人たちの力を活用し、どう取り込むか、地域の人たちが積極的に安全・安心のまちづくりのために参画できるシステムを構築することが必要と考えます。どうかよろしく願いいたします。

続きまして、2点目、子育て支援に向けた取り組み等についてですが、施政方針において第2点目に子育て支援の充実とあります。

1つ目です。子育て世代包括支援センターで子育て世帯の不安、ニーズに対し、切れ目ない相談支援を行っているとのこと。また、放課後児童クラブについては小学校高学年の受け入れを四箇及び豊原地区においても新たに開設されています。

そこで、お尋ねいたします。

今年度4月より現在まで、子育て世代包括支援センターに相談はあったのでしょうか。また、放課後児童クラブの利用状況及び放課後クラブに対して利用する方より要望等はあったのでしょうか。お願いいたします。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

天野議員の子育て支援に向けた取り組み等についてのご質問にお答えいたします。

まず、子育て世代包括支援センターに相談があったかのご質問ですが、昨年4月の開設以来、1日平均10世帯の方々にご利用いただいております。相談件数については現在までに延べ440件、うち今年度4月から5月末までに寄せられた相談件数は57件です。

相談内容につきましては、発達や発育、育児に関する相談が7割近くを占めており、保育所入所に関するものが1割程度、その他、離乳食や栄養に関するものなどの相談が寄せられております。

また、保健師や助産師、看護師、管理栄養士の専門的な助言により、ケースによっては言葉の相談や子供相談など、専門機関への紹介や受診勧奨も行っております。

次に、放課後児童クラブの利用状況と利用する方からの要望等についてのご質問ですが、6月1日時点において4校区全学年で247名の児童が利用しており、うち新たに開設しました四箇校区四つ葉クラブは10名、豊原校区四つ葉クラブは38名の児童が利用しております。

利用者からの要望ですが、保護者からは放課後、子供たちだけで過ごさせることに不安を感じていたが、四つ葉クラブができたことで友達と一緒に安心して有意義に放課後を過ごせるようになったとのご意見をいただくなど、おおむね好評をいただいておりますが、児童がボール遊びや運動に取り組めるスペースが室内だけでは難しく、体を動かして遊びたい、外で遊びたいといった意見も伺っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（天野 里美）

有難うございました。

先日のことですが、小学校に通う生徒の保護者様から、夏休み、冬休みなど現段階の利用時間では仕事に通うことができず、会社を退職しましたとの声が届きました。また、子育て世帯のお母様方の会話の中に、小学校に通うまでに多度津町外へ移住し、子供を育てる環境が整い、安心して自分の仕事に通える町や市へ移住しようという声があったとお聞きしております。大変残念なことです。

子育て支援の施策の一つとして、全ての小学校区において全学年の受け入れを開始できるのはいいことです。一方で、今後、利用者の方から様々な要望があれば利用者側に立ったきめ細かな運営が求められると思います。施設ができたならそれで終わりではなくて、今後子育て世帯の方が安心して利用することができ、子供たちが楽しく過ごすことができる環境を整えていただきたいと考えます。

また、人材確保等の問題もあるとは思いますが、親の働く時間によって対応できるようお願い申し上げます。

次に、通級指導教室エアコン設置について質問いたします。

通級による指導は通常の学級に在籍する軽度の障害がある児童・生徒に対して、各教科の授業は通常の学級で行いつつ、障害に応じた特別の指導を通級指導教室といった特別な場で行う教育形態です。通級による指導は、障害による学習または生活上の困難の改善、克服を目的とした指導が児童・生徒のニーズに応じて受け入れられる上に、通常の学級における授業においても、その指導の効果が発揮されることにつながると期待されています。

現在、本町において、多度津、四箇、豊原の3校で15名の児童が通級指導教室で学習しています。

そこで、質問いたします。

現在、通級指導教室にはエアコンが設置されておらず、児童たちにとって夏の猛暑、冬の極寒日で教室にとまることはそれだけで苦痛なことだと思います。エアコンのない学習環境についてどうお考えかお答え下さい。また、エアコンを設置する計画はあるのかお答え下さい。お願いいたします。

教育長（田尾 勝）

天野議員の通級指導教室についてのご質問に答弁させていただきます。

議員ご指摘のとおり、多度津小学校には通級指導教室が設置され、専用の教室が造られています。多度津小学校の該当児童は週に1時間程度の割合で指導、支援をその教室で受けます。その場には専門性を持った教職員の指導、支援を行います。

四箇小学校では、相談室を併用して使用したり、豊原小学校では生活科教室と併用して開設しております。

また、豊原小学校へは担当教師が巡回指導という形で訪問指導、支援を行っています。基本は全ての教室でマンツーマンで指導、支援を受けるという形になっています。

空調施設の設置については平成28年度には基本設計、29年度には実施設計を完了させ、29年度、工事を着工し、平成30年2月に町内全ての小学校において工事が竣工しました。構想の段階で使用頻度の高い普通教室と特別支援教室は全ての教室にエアコンを設置することにしました。特別教室については各学校からヒアリングを通して、学校の優先順位を出してもらって学校の均衡等にも配慮して、選定して基本計画を立てて進めていきました。結果的に、全ての特別教室に空調設備が設置されていないという状態ではありません。

さて、現在通級指導教室では各学校の教室環境の実態を踏まえて、個々の児童の特性にも配慮した教育環境を作っているところではありますが、今後は十分に実態を把握して、学校とも相談しながら、空調も含めた適切な教育環境のあり方について検討していきたいと思っています。

通級指導教室は子供の実態からいうと色々なことを配慮しなければいけない、狭い部屋がいいのか広い部屋がいいのか、色んなことを勘案しながら、空調も含めて検討していきたいと思っています。

以上です。

議員（天野 里美）

詳しく説明していただきまして本当に有難うございます。

現在、6月に入り、猛暑厳しい日々でございます。現在、猛暑対策は急務しております。夏の猛暑で室温は35度に達するとお聞きしております。平成19年度から統計によりますと、平成29年度の通級指導教室に通う生徒は2.5倍に増えております。全国で約10万9,000人に上り、生徒は増加の傾向を示しています。

通級指導教室について、県の教育担当窓口にて確認したところ、現在通級指導教室に通われている子供たちが夏の猛暑により通級指導教室に行くことが苦痛であると感じたならば、居心地の悪い場所であり、学校へ通うことすらできない登校拒否児童となり得ることが懸念されます。

教育にお金を入れるということは未来への投資です、というお話をして下さいました。これは提案です。文科省より普通教室から優先的に教室環境を整えていくように通達が出ているとお聞きしています。特別教室に値しない通級指導教室は普通教室に値するのではないのでしょうか。実際に1学年から6学年までを受け入れているのが現状です。

通級指導教室に通う児童、普通教室で学ぶ児童も同じように、同じ環境の教

室で安全に安心して学ぶことができるよう、設備及び備品を備えた場所である必要があると思います。児童に寄り添った配慮や工夫を行うことが大切なことだと考えます。早急にエアコン設備の設置に必要な財政措置を講じるよう強く要望いたします。

以上、質問を終わります。有難うございました。